

2015年1月15日

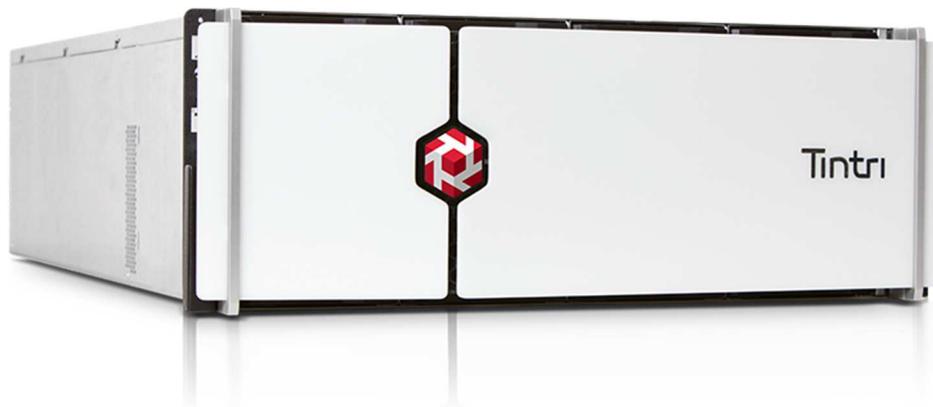
ティントリジャパン合同会社

ティントリジャパン、データ圧縮と暗号化をサポートし、2倍以上の容量拡張とデータの堅牢性を実現したスマートストレージの新製品を発表

～VMware vCenter Site Recovery Manager (SRM) と連携し、災害対策の自動化を実現～

仮想化ならびにクラウド環境のスマートストレージを提供するティントリジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者社長：河野 通明、略称：ティントリジャパン）は、データ圧縮をサポートし、2倍以上の容量拡張とデータの堅牢性を実現したスマートストレージの新製品である

「Tintri VMstore（ティントリ ヴィエムストア）T800 シリーズ」および最新オペレーティング システム「Tintri OS（ティントリ オーエス）3.1」の販売開始を発表しました。本日より販売を開始します。



Tintri VMstore T800 シリーズ

今回発表する新しい「Tintri VMstore T800 シリーズ」は、搭載するハードディスク上で機能するデータ圧縮をサポートし、圧縮前と比較して論理実効容量（\*1）を2倍以上に拡張するとともに容量当たりの単価を50%に低減しました。ハイエンドモデルとなるT880は、論理実効容量で100TB（テラバイト）を実現し、従来のT650と比較して同じ筐体サイズでありながら3倍のデータを保存することが可能となります。これにより、42Uサイズの1ラックに最大で1PB（ペタバイト）の容量、ならびに140万IOPSの性能まで拡張でき、3万5千の仮想マシンを最小限の設置面積で稼働させることが可能です。また、同時に発表する最新のオペレーティングシステムである

「Tintri OS 3.1」ではデータの災害対策の自動化や暗号化などを新たにサポートし、エンタープライズデータのセキュリティとビジネス継続性を強化しました。

今回発表する新しい「Tintri VMstore T800 シリーズ」の主な特長は次のとおりです。

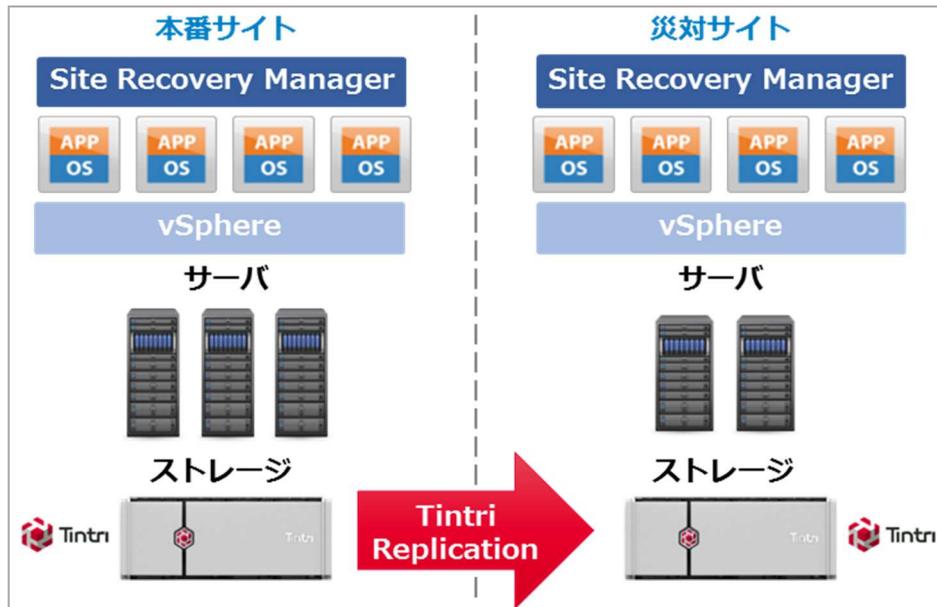
- VM（仮想マシン）のデータを圧縮した状態でハードディスクに格納することで、物理的な実効容量に対して2~2.5倍の容量を提供します。物理的なコストは変わらないため、ユーザーが利用できる容量単価を50%まで低減しています。
- 仮想化環境の規模に応じてT820、T850、T880の3種類のモデルを用意しました。ハイエンドモデルのT880は、従来のハイエンドモデル（T650）と比較してサポートVM数で1.75倍、論理実効容量で3倍を実現しています。

	実効容量	論理実効容量*	サポートVM数
T820	10.5TB	23TB	750
T850	30TB	66TB	2,000
T880	45TB	100TB	3,500

\*圧縮効果とVM単位のクローニング重複排除効果により2.0~2.5倍の圧縮率を想定

最新オペレーティングシステム「Tintri OS 3.1」の主な特長は次のとおりです。

- VMware vCenter Site Recovery Manager (SRM)との連携
  - ・ SRA(Tintri Storage Replication Adapter)の提供により、SRMのリカバリプランと、ティントリのレプリケーション機能である「Tintri ReplicateVM（ティントリ レプリケート ヴィエム）」の連携が可能となりました。
  - ・ 任意のVMをグルーピング化し、その単位でレプリケーション動作、および、フェイルオーバー・フェイルバックの自動化を行うことができます。



VMware vCenter Site Recovery Manager (SRM)との連携

- 暗号化機能「SecureVM（セキュアヴェイエム）」の販売開始
  - ・ ハードディスク上のデータ暗号化のための新しいソフトウェア ライセンスです。AES-256（\*2）による強固な暗号化処理を行いハードディスクにデータを格納することで、厳しいセキュリティ要件に対応します。また、今回の技術を実装するにあたりパフォーマンスの劣化や容量の減少は発生しないため、ティントリの持つ高いパフォーマンスや容量効率を活かしながらセキュリティを担保することが可能です。
- ワークフローの自動化を実現する REST API SDK
  - ・ スクリプティング ツール「Tintri Automation Toolkit（ティントリ オートメーション ツールキット）」はこれまで VMware vSphere PowerCLI をサポートしていましたが、今回よりクラウド コントローラーと連携するのに適した REST（\*3）API にも対応し、優れた相互運用性を実現しています。

## 価格について

- Tintri VMstore T800 シリーズ (価格は 1 ノード、税別)

製品名	参考価格	論理実効容量 (*1)
Tintri VMstore T820	14,800,000 円	23TB
Tintri VMstore T850	29,800,000 円	66TB
Tintri VMstore T880	50,600,000 円	100TB

\*Tintri OS 3.1 ならびにデータ圧縮機能は上記製品ならびに参考価格に含まれます。

- 「SecureVM」のライセンスは参考価格 640,000 円から (T820 向け 1 ノード当たり、税別) となります。
- 「Tintri Automation Toolkit」は Tintri VMstore をお使いであれば無償で提供されます。

## 販売ならびに提供について

Tintri VMstore T800 シリーズは、本日 1 月 15 日より販売を開始します。出荷開始は 1 月下旬からとなります。以下のティントリ販売パートナーならびに OEM パートナーから提供されます。

(50 音順)

東芝 IT サービス株式会社

ネットワンパートナーズ株式会社

ノックス株式会社

富士通株式会社 (OEM 製品「FUJITSU Storage ETERNUS TR800」として販売)

株式会社富士通エフサス

丸紅情報システムズ株式会社

ユニアデックス株式会社

また、ティントリジャパンは、更なる国内販売の体制強化を目的として、新たに株式会社ネットワークと販売代理店契約を締結しました。株式会社ネットワークは、今回発表した Tintri VMstore T800 シリーズよりティントリ製品の販売を開始します。ティントリジャパンは、IT インフラストラクチャーのソリューション ディストリビューターである株式会社ネットワークの持つ仮想化技術製品の販売力とサービス力で、国内市場での販売機会拡大を目指します。

## 株式会社ネットワーク 代表取締役社長 森田 晶一 様からのエンドースメント

株式会社ネットワークは、この度、ティントリジャパン合同会社が「Tintri VMstore（ティントリ ヴィエムストア）T800 シリーズ」および、最新オペレーティング システム「Tintri OS（ティントリ オーエス）3.1」を発表されたことを心より歓迎いたします。当社は仮想化ならびにストレージソリューションに注力しておりますが、近年、お客様からのクラウドシステム基盤構築に対して運用や構築を簡素化かつスピーディーに対応できるストレージ製品への要望が高くなっています。当社はこの市場の要望に対応するため、高い堅牢性と柔軟な拡張性に加えて、仮想化基盤の構築と運用を劇的に軽減することが可能と確信し、ティントリ ヴィエムストアの販売を開始いたします。

###

### 製品写真（下記よりダウンロード可能です）

「Tintri VMstore T800 シリーズ」：

<http://tintri.co.jp/sites/default/files/wysiwyg/Japan/t800.png>

[http://tintri.co.jp/sites/default/files/wysiwyg/Japan/t800\\_render\\_front\\_3quarter.png](http://tintri.co.jp/sites/default/files/wysiwyg/Japan/t800_render_front_3quarter.png)

[http://tintri.co.jp/sites/default/files/wysiwyg/Japan/t800\\_render\\_front\\_and\\_top\\_3quarter.png](http://tintri.co.jp/sites/default/files/wysiwyg/Japan/t800_render_front_and_top_3quarter.png)

### 製品情報

Tintri VMstore T800 製品情報：<http://tintri.co.jp/tintri-vmstore>

Tintri OS 3.1 製品情報：<http://tintri.co.jp/documents/tintri-os-31>

Tintri SecureVM 製品情報：<http://tintri.co.jp/securevm>

Tintri Automation Toolkit 製品情報：<http://tintri.co.jp/tintri-automation-toolkit>

###

(\*1) 論理実効容量：データ圧縮を考慮し、ユーザーが実際にデータを保存可能なストレージ容量のことを指す。

(\*2) AES-256：Advanced Encryption Standard (AES)方式による暗号化のうち、256 ビット長の暗号鍵を使用すること。暗号鍵のビット長が長いほどセキュリティが堅牢となる。

(\*3) REST：Representational State Transfer の略。HTTP を使って特定の URL にアクセスすることで、XML ベースで記述されたデータを得ることができる Web インターフェースの一種のこと。

###

## ティントリジャパン合同会社について

ティントリジャパンは、米国ティントリ社の日本法人として、2012年に設立されました。米国ティントリ社は、仮想化環境を監視、把握、適応できるスマートストレージを提供するストレージ・ベンダー企業です。同社のスマートストレージを導入することで、IT部門のストレージ管理負担を劇的に軽減し、仮想化されたアプリケーションでのサービスに集中できるようになります。

アプリケーションに最適化されたティントリ スマートストレージは、仮想マシン単位での可視化、制御、洞察、即時適応を提供し、ストレージの複雑な設計やトラブルシューティングから解放されます。ティントリ スマートストレージは、ビジネスクリティカル データベース、エンタープライズ アプリケーション、デスクトップやモバイル アプリケーション、プライベート クラウドといった数百から数千台の仮想マシンを快適に稼働させることができます。

ティントリ製品は、AMD、F5 ネットワークス、GE、NTT、ミラークアーズ、タイムワーナーなどのグローバル企業での仮想化やプライベートクラウド環境で利用されています。ティントリの製品やサービスに関する情報については、以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.tintri.co.jp>

ティントリジャパンの Facebook は以下の URL をご参照ください。

<http://www.facebook.com/TintriJapan>

###

### 【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：ティントリジャパン合同会社

担当者名：マーケティング本部・羽鳥（はとり）正明

TEL：03-3216-7345（代表）

Email:info.japan@tintri.com